

令和元年度教員地域貢献活動支援事業 事業成果報告書(エリアマネジメント活動支援型)

事業の種類	エリアマネジメント活動支援型				
課題名	自走型コミュニティ構築を目的とした地域マネジメント体制および拠点構築に関する実践研究				
研究者	代表教員氏名	国際総合科学部 准教授 三輪 律江			
	事業ユニットの構成(代表者除く)	国際総合科学部 准教授 中西 正彦			
課題協力者	石井造園株式会社、株式会社安藤建設、株式会社三春情報センター、株式会社横浜シーサイドライン、株式会社横浜八景島、京浜急行電鉄株式会社、大和リース株式会社、三井不動産株式会社、横浜市金沢区役所				
課題	<p>金沢区臨海部(横浜市6大事業による埋立地に存在する産業団地・住宅地)は社会環境の変化とともに衰退が進んでおり、たとえば定住者・就労者・来街者の減少が進んでいる。特に住宅地である金沢シーサイドタウン(金沢区並木)では、人口減少に加えて急速な高齢化が伴い、コミュニティの衰退の危機にある。</p> <p>金沢シーサイド地区で活動している主体は、自らの事業基盤に関わる定住人口・交流人口を増加させるべく、それぞれに様々な取組を行ってきている。しかし個別の取組では効果に限界もあるため、今後の活動を見据えた他の主体等も含め、将来を見据えた密な連携を進めることが課題のひとつである。</p> <p>具体的な活動としては、地域の魅力を高めることに加え、魅力を発信して地域ブランドを創出することが重要である。そのためにも地域に関係する各主体の協働体制(エリアマネジメント体制)の構築が必要であり、2016年度より検討を進めている。</p> <p>しかしエリアマネジメント体制は、住民を含んで地域に根差したものでなくてはならず、また資金面を含め自律的・自走的なものとしなくてはならない。そのような体制をどのように構築するかが大きな課題となっている。</p>				
課題解決の方法	<p>集合住宅団地を中心とするニュータウン活性化、住宅地と産業団地の連携方策等、地域活性化の実践的方策を共同で研究する。</p> <p>学術的な観点と、非営利であり公平性を有する大学には、各関係主体をつなぎ、調整する役割が期待される。また、環境整備や拠点運営を含む地域コミュニティの活性化、健康まちづくり、地域・組織マネジメントなどに関わる専門と実践的技術を持つ教員の関与を必要とする。</p> <p>提案主体はそれぞれが持つ情報とリソースを提供し、具体的な活動を進め、大学の方向付けのもと、主体間の連携を行う。</p>				
研究実績報告(スケジュールと内容・成果)	「あしたタウンプロジェクト活動報告書」参照				
連携機関(課題協力者以外)	神奈川県立金沢総合高校、学校法人関東学院大学、UR都市機構、横浜市住宅供給公社、横浜市政策局、地域住民(並木ラボ定期利用者、金沢シーサイドタウン連合自治会、地区社会福祉協議会、NPO法人らしく並木等)…等				
得られた効果及び成果、自己評価	<p>それぞれの活動に多くの参加者を得て、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点運営による地域内外の交流 ・情報収集と発信 <p>を主に進めることができた。</p> <p>また、特に自走に向けた拠点運営の自立化については、実際の運営を進めながら検討してきた。</p> <p>特に費用回収の方法などにおいて、解決しなくてはならない問題にどのようなものがあるかを議論検討し、明らかにすることができた。</p> <p>プロジェクトの3年目に向けて、これらの課題を解決するための素地となった。</p>				
今後の課題と展開	<p><今後の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立化に向けた費用面も含めた自立事業化について、課題はあきらかになったものの、その解決の方策を見出す必要がある。 ・協議会参加団体との連携が十分とは言えず、各団体のリソースを引き出し活かしつつ、上記の課題に取り組む必要がある。 <p><今後の展開></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、拠点を活用した地域内外の交流促進と、地域情報の収集と発信に努める。 ・スペース利用の有償化定着、小箱ショップの検討など、自立活動を増やしていき、自走体制への足掛かりを作る。 				
研究発表(投稿準備中、投稿中、発表予定を含む)	<p><論文></p> <p>1. 三輪律江「横浜市金沢シーサイドタウンにおける母親の就労・育児に関する実態と意識からみた職住近接についての考察」;『横浜市立大学論叢』人文71巻3号(予定)、査読あり、採択済み</p> <p><報道機関による紹介></p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京新聞:みなとみらいと金沢区の連続講座(BankART)(2020年1月10日) ・タウンニュース:並木ラボ イベント利用が可能に(2020年1月16日) ・タウンニュース:三井アウトレットパーク 魅了ある施設とは(2020年2月6日) 				
研究成果による知的財産権の出願・取得状況					
知的財産権の名称	発明者名	権利者名	知的財産権の種類、番号	出願年月日(和暦)	取得年月日(和暦)
特になし					